

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成23年 6月30日

大分県知事 殿

提出者

住 所 中津市耶馬溪町大字金吉1730


氏 名 山 浦 牧 場

尾 道 一 太

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0979-56-2126

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	山 浦 牧 場	
事業場の所在地	大分県中津市耶馬溪町大字金吉1730	
計 画 期 間	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	01 農業	
②事業の規模	成牛 226頭 子牛 59頭	
③従業員数	1人	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜糞尿 処理業者への委託処理 一部堆肥化後、農地散布 家畜死体 ①処理業者への委託処理	

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表 (廃棄物統括責任者)

— 廃棄物処理方針の決定
 廃棄物処理に関する各種事項の決定
 廃棄物処理等の報告書作成

作業員 (廃棄物実務担当者)

— 廃棄物処理実務

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (22 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	家畜死体
	排 出 量	3, 048 t	t
	(これまでに実施した取組)		
家畜糞尿 処理業者へ委託処理・一部堆肥化農地散布			
家畜死体 処理業者へ委託処理			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	家畜死体
	排 出 量	3000 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
家畜糞尿 処理業者へ委託処理・一部堆肥化農地散布			
家畜死体 処理業者へ委託処理			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 22 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 22 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 22 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 22 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜死体	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 家畜死体 処理業者へ委託処理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
現状どおり、処理業者に委託処理する。			
※事務処理欄			